

Green & Social Bond Newsletter

2022年11月 第8号

グリーン&ソーシャルボンド ニュースレター

目次

アフリカのレジリエンス構築	1
最近のハイライト	2
水供給が保証されたアフリカに向けて	3
農業・人的資源・社会開発担当副総裁	
ベス・ダンフォードとの対話	5
急速に発展するアフリカの気候変動アジェンダ	7
気候スマートな開発へのファイナンス	8
グリーン&ソーシャルボンド枠組	9
グリーンボンド・ポートフォリオ	10
ソーシャルボンド・ポートフォリオ	11
COVID-19 ボンド・ポートフォリオ	12
最近のESG債券発行	13
グリーンボンドとソーシャルボンドの配分	14
変革をもたらすグリーンプロジェクト	15
変革をもたらすソーシャルプロジェクト	17
変革をもたらすCOVID-19プロジェクト	19
グリーンボンド・インパクトレポート	21
ソーシャルボンド・インパクトレポート	22
COVID-19ボンド・インパクトレポート	23
透明性と開発成果	24

アフリカのレジリエンス構築

世界が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックによる壊滅的な社会経済的影響と戦い続ける中、アフリカ大陸は2021年に実質GDP成長率6.9%を記録¹、半世紀ぶりの景気後退となった2020年のマイナス1.6%と比べると、レジリエンスを発揮しました。しかし、パンデミックの悪影響は2021年を通じてなお感じられ、約3,000万人のアフリカの人々が極度の貧困に追いやられ、アフリカ大陸では約2,200万人の雇用が失われました²。

2022年のアフリカのGDP成長率は4.1%に減速すると予想されており³、COVID-19のパンデミック、ロシア・ウクライナ紛争、気候変動という三重苦の深刻さが浮き彫りになっています。気候変動がアフリカの経済や生活に与える負担やコストは、世界の二酸化炭素排出量に占めるアフリカ大陸の割合と比較して不釣り合いに大きいものです。実際、**アフリカは世界の温室効果ガス（GHG）排出量に占める割合は最も小さく、年間4%弱に過ぎませんが⁴、気候変動の悪影響に対しては極めて脆弱です。**

アフリカで気候変動の影響を主に受けるのは、農業、林業、漁業など、脆弱なコミュニティの生計に欠かせないセクターです。頻発する深刻な干ばつに加え、洪水や暴風雨は地域住民、生態系、経済の健全性に影響を及ぼすとともに、すでにニューノーマル（新たな常態）となっており、アフリカにおける最近の開発成果を覆しかねません。「気候変動に関する政府間パネル（IPCC、2021年）」⁵によれば、アフリカは今後数年間に予想される気候変動のトレンドによって、最も壊滅的な影響に見舞われることになるでしょう。

しかし、**アフリカには気候変動に対するレジリエンスを構築し、低炭素開発へと移行するための大きな機会があります。**パンデミック後の経済復興を支援するために、アフリカ開発銀行（AfDB）は「[アフリカ気候適応加速プログラム](#)」や「[砂漠から電力へ](#)」イニシアティブなど、アフリカのレジリエンスを高めるための取り組みに注力しています。AfDBは長年にわたり気候変動対策に取り組んでおり、経済成長がアフリカの変革を促し、AfDBが支援する開発が**スマートで、環境に優しく、持続可能で、気候と調和し、気候に対応したもの**となることを保証するために、重要な役割を果たしています。

2021年にAfDBは、気候変動、砂漠化、生物多様性喪失と戦うための世界及びアフリカの取り組みのインパクトを最大化し、気候変動の影響に備えるために、野心的な「[気候・グリーン成長戦略枠組（Climate and Green Growth Strategic Framework）](#)」を採択しました。この新たな枠組は、「**すべてのアフリカの人々の利益のために公正に変革された、気候レジリエントで、低炭素で、環境に優しく、包摂的で、統合され繁栄するアフリカ**」という明確なビジョンを示しており、パリ協定を実現するというAfDBの目標を体現するものです。

このニュースレターでは、グリーン&ソーシャルボンド発行に関するAfDBの最近の活動（配分やインパクトレポートなど）、アフリカの持続可能性に関するAfDBの戦略的活動、最近発表した「水戦略（2021年～2025年）」、ベス・ダンフォード農業・人的資源・社会開発担当副総裁へのインタビュー、最近発表した「気候・グリーン成長戦略（2021年～2030年）」に焦点を当てています。

1 [African Economic Outlook 2022](#)
2 [African Development Bank Group Annual Report 2021](#)
3 [African Economic Outlook 2022](#)
4 [CDP Africa Report, 2020](#)
5 [IPCC Sixth Assessment Report](#)



最近のハイライト

ソーシャルボンドでユーロ市場への復帰に成功

AfDBは2022年9月に、[12億5,000万ユーロの7年物ソーシャル・グローバルベンチマーク債](#)を新たに発行しました。この債券は利率2.25%で、環境・社会・ガバナンス（ESG）投資家が求める高格付けの社会的責任投資に応えるものです。この新発債は23億ユーロを超える需要を集め、需要申告額はAfDBにとってユーロ市場で過去最高となりました。

南アフリカで初となる私募によるグリーンボンド発行

2022年8月、AfDB初の南アフリカランド（ZAR）建てグリーンボンド（[2億南アフリカランド、1年物、2023年9月償還](#)）を発行しました。この債券は、アフリカにおけるグリーンファイナンスを支援するため、私募形式で発行され、日本の機関投資家に販売されました。この債券の調達資金は気候変動の悪影響に対するレジリエンスの構築に充てられます。

カンガルー債ESG市場に目を向ける

2021年4月、1億1,500万豪ドルの10年物グリーン・カンガルー債（2031年11月償還）について、2,500万豪ドルの追加発行を行い、発行総額は1億4,000万豪ドルとなりました。2021年に豪ドル市場で初めて発行した6億豪ドルの5.5年物ソーシャルボンドの成功に続き、2022年4月には[1億5,500万豪ドルの10.5年物ソーシャル・カンガルー債（2032年10月償還）](#)を発行し、日本の機関投資家向けに販売しました。

スウェーデンの投資家がAfDBのグリーンボンドを支援

2022年2月、10億スウェーデンクローナ（SEK）の5年物グリーンボンド（2027年2月償還）を発行し、3月に5億スウェーデンクローナを追加発行しました。これはAfDBにとって、2013年にグリーンボンド枠組を設置して以来、スウェーデン市場で6度目のグリーンボンド発行であり、これまでに合計65億スウェーデンクローナを調達しました。

先駆的なアフリカのフロンティア通貨建てESG債券

2022年6月、AfDB初となる[190億ウガンダシリング（UGX）の2年物「アフリカの食料増産」テーマ型債券（2024年6月償還）](#)を発行しました。これは国際開発金融機関（MDB）が発行する初のアフリカ・フロンティア通貨建てESG債となりました。この債券の調達資金は、当行の5つの戦略的優先分野「High 5s」のうち「アフリカの食料増産」を推進するプロジェクトに融資するよう最大限の努力を尽くします。

MSCIがAfDBのESG格付を引き上げ

AfDBは総合的なESGパフォーマンスを継続的に向上させています。それが認められ、格付機関MSCIは2021年12月にAfDBのESG格付を「A」から「AA」に引き上げ、その理由として堅固な倫理枠組や強力な金融包摂イニシアティブを挙げました。

新たな気候・グリーン成長戦略枠組

2021年10月、新たな「気候・グリーン成長戦略枠組」を発表し、2023年までにすべての新規オペレーションをパリ協定の野心的目標と整合させ、2025年までに国レベル及び内部のオペレーションを全て同協定と整合させることを全面的に約束しました。この枠組は、「[政策](#)」、「[戦略（2021年～2030年）](#)」、「[気候変動行動計画（2021年～2025年）](#)」で構成されています。

ソブリン・ポートフォリオがグローバルな援助透明性指数で1位を獲得

AfDBのソブリン・ポートフォリオは、「[Publish What You Fund](#)」の「[援助透明性指数（Aid Transparency Index）2022](#)」において世界の50の開発援助機関の中で歴代最高の98.5点を獲得し、第1位となりました。この指数は、世界の主要な開発援助機関による援助の透明性を独自に測定するものです。AfDBのソブリン・ポートフォリオは2014年以來、最高位の「非常に良好」を維持しており、透明性向上へのコミットメントと、質の高い援助データの提供における著しい進歩を一貫して実証しています。

世界的な食料危機に際して、アフリカ諸国を支援

2022年5月、AfDBはロシア・ウクライナ紛争に端を発する食料危機への対処を支援するために、[15億米ドルの緊急食料生産ファシリティ](#)を承認しました。この取り組みは、ウクライナにおける戦争のために生じた食料供給不足を補うために、小麦、トウモロコシ、米、大豆の生産増を助けるものです。この基金はアフリカ大陸での食料不足を巡る懸念の高まりに対処するために、アフリカの2,000万人の農家が食料生産を3,800万トン増やすことを支援し、これにより現地での生産は約30%増加することになります。

COP26における主導的役割

2021年11月に開催された第26回気候変動枠組条約締約国会議（COP26）では、[グラスゴー気候合意](#)が採択され、グローバルな気候変動交渉における重要な節目となりました。この合意には、アフリカを気候変動の影響から守るために不可欠なさまざまなコミットメントが含まれています。具体的には、気候適応投資の拡大、2025年までに途上国向けに1,000億米ドルの気候変動ファイナンスを提供するための計画、最貧国や最も脆弱な国で生じる気候変動による損失や損害に対処するためのさらなる努力などが盛り込まれています。

砂漠化との戦い

2022年5月にアビジャンで開催された第15回国連砂漠化対処条約締約国会議（COP15）において、AfDBは砂漠化・土壌劣化への対処と、持続可能な生態系の回復への投資拡大による干ばつの影響緩和に取り組むことを改めて確認しました。COP15では、アフリカの広大な砂漠を、緑豊かなグリーンベルトへと再生する野心的なプロジェクト「[緑の長城](#)」に関する議論が行われました。AfDBは2025年までにこのプロジェクトに65億米ドルを拠出する予定です。

COP27は「アフリカのCOP」

2022年11月にエジプトで開催される第27回気候変動枠組条約締約国会議（COP27）では、グラスゴー気候合意に向けた進捗、特に気候変動ファイナンス向けに1,000億米ドルを動員するという目標が焦点となるでしょう。2022年のカナダ・AfDB気候ファンドの運用化、気候及びジェンダープロジェクトへの譲渡的融資、英国政府との「Room2Run」など、気候変動ファイナンスの新たな資金源の開発において、AfDBは引き続き積極的な役割を果たしています。これらにより、気候関連プロジェクトへのさらなる融資が可能となります。

水供給が保証されたアフリカに向けて

持続可能な開発のあらゆる側面において、水が中心的かつかけがえのない役割を担っていることは広く認識されていますが、アフリカでは包摂的な経済成長と社会の発展を支えるために、水資源の開発と管理に対する大規模な投資がなお必要とされています。水の安全保障は、他の持続可能な開発目標（SDGs）、例えば貧困削減、飢餓の撲滅、健康増進、ジェンダー平等、強靱な都市の構築などに関する目標の達成にも不可欠です。水へのアクセス改善に投資することが、食料安全保障の向上、経済成長、貧困削減に大きく貢献するという有力な証拠がみられます。

アフリカはオーストラリアに次いで世界で2番目に乾燥した大陸であり、今なお数百万人のアフリカの人々が水不足に苦しんでいます。アフリカの1人当たりの平均水使用量は世界平均の40%にも達していません。水資源の移転や輸送が非常に限られていることから、水力発電のポテンシャルの11%しか利用されておらず、灌漑されている耕作地はわずか6%に過ぎません。気候変動は水の安全保障にとっても重大な脅威であり、気候変動に起因する災害の90%は水に関するもので⁶、1人当たり再生可能水資源の減少に拍車をかけています。アフリカの干ばつや洪水は、2000年代に入って以降、少なくとも毎年1,000人の死者、1,300万人の深刻な被災者、5億2,000万米ドルの直接的な経済損害をもたらしています⁷。

アフリカでは数百万人が基本的な給水・衛生サービスにアクセスできない

4億2,000万人が飲料水を利用できない



7億8,000万人が衛生設備を利用できない



8億4,000万人が衛生サービスを受けられない



アフリカのSDG6の未達は深刻

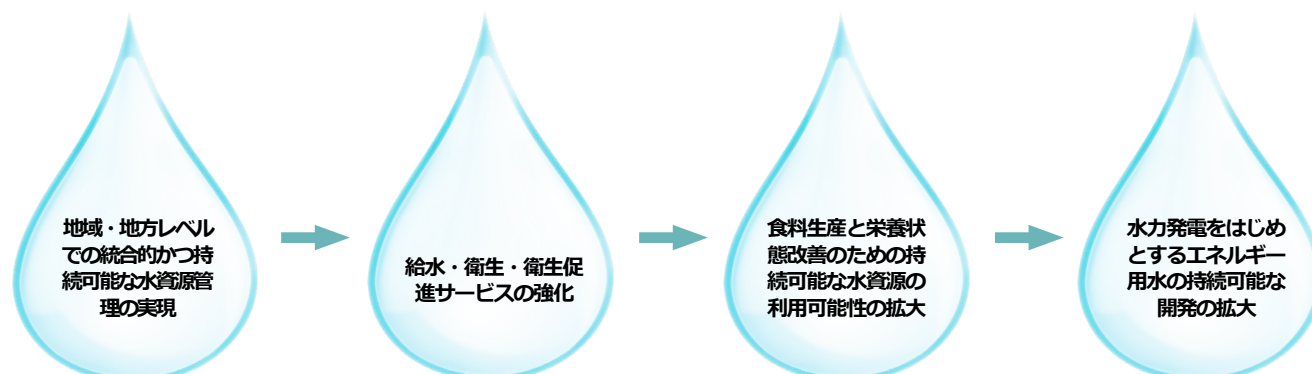


出典: UNICEF、2022年3月

したがって、水資源管理の改善は気候変動に対するレジリエンスを構築し、適応を強化するうえで欠かせません。**水供給が保証されたアフリカを実現するためには、上下水道への投資を速やかに現在の3倍、推定で年間100億～135億米ドルに拡大する必要がある**ということは目を背けることのできない現実です。同時に、民間セクターの参加は比較的限られており、2018年には水セクターへの投資総額のわずか1.9%を占めるにとどまりました。これに対して、政府は資金ニーズの約40%を拠出しています⁸。大変残念なことに、現在の投資水準は人口増加率を下回っており、サービスを受けられない人々の数が急速に増加しています。

AfDBは、すべての人のための水の安全保障強化を加速させるため、大胆な一歩を踏み出しました。2021年に、新たな「[水に関する政策](#)」と、その実施の指針となる「[水戦略](#)（2021年～2025年）」を承認しました。水戦略は、「High5s」における「アフリカの人々の生活の質の向上」という目標、「2030アジェンダ」（特にSDG6の達成）、アフリカ連合（AU）の「アジェンダ2063」の達成にも貢献するでしょう。

水戦略の目的は、**アフリカの水の安全保障を強化し、かつ持続可能で環境に優しく、包摂的な社会経済の成長と開発を促進するために水資源を変革すること**にあります。これらの目標を達成するために、水戦略では以下の4つの戦略的目標に焦点を当てています。



6 [World Bank - A bold response is needed to achieve a water-secure world](#)

7 [The African Development Bank Group Water Strategy 2021-2025](#)

8 [Infrastructure Financing Trends in Africa - 2018](#)

AfDBは、ソブリン及びノンソブリン融資を介した公共投資と、民間セクター強化手段やメカニズムを組み合わせ水セクターの資金調達ギャップを解消する上で、大きな役割を果たしています。これには、[民間セクター信用強化ファシリティ](#)や、アフリカの水事業者の信用力強化を目的とした最近の特別イニシアティブ技術支援プログラムなど、特定の技術支援プログラムが含まれます。

新たな「水戦略（2021年～2025年）」を実施するために、AfDBはパートナーや気候関連ファンドからの協調融資に加え、**少なくとも64億米ドルを投資する予定**です。また、2030年までに水セクターに推定120億米ドルを投資することが見込まれており、これによりさらに1億人が改善された給水・衛生サービスを利用できるようになります⁹。

1,220万人

AfDBの投資により、2021年に改善された給水・衛生サービスの利用が可能に



過去10年（2012年～2021年）の水セクターへの投資



59億米ドルを40カ国以上に投資



その70%以上を都市部の給水・衛生設備に投資



9,000万人の生活を改善



気候変動への適応強化に貢献

出典: Water Sector Activities and Initiatives Report for 2021

アフリカの人々の生活の質を向上させる有意義な方法

エジプト – 上エジプトにおける統合型農村衛生（ルクソール）

- プロジェクト費用：2億8,200万ユーロ
- AfDBの融資額：1億800万ユーロ
- 承認：2019年

このプロジェクトは、上エジプトの農村地域で統合された衛生サービスを提供する「国家農村衛生プログラム」を支援することを目的としており、水セクターの規制改善、排水の収集、水の運搬と処理のためのインフラ整備を援助します。持続可能な衛生サービスへのアクセスを提供し、未処理排水の不適切な排出を停止することで、改善された衛生サービスの普及率を高め、より清潔で健康的な環境を作り出すことが期待されます。8つの新たな下水道網とポンプ場、および2つの排水処理場により、1日当たり約3万立方メートルの処理済み排水を排水路や用水路に流し、農業に再利用することで食料安全保障に貢献します。



期待される開発成果

- 103,180人の受益者の給水・衛生サービスへのアクセスを改善
- 22,000世帯に衛生サービスへの新たなアクセスを提供
- 衛生システムに接続された村が95%増加
- 排水から飲料水への処理量が30%増加
- 1,500人の雇用創出

農業・人的資源・社会開発担当副総裁 ベス・ダンフォードとの対話



ベス・ダンフォード博士（農業・人的資源・社会開発担当副総裁）

あなたが率いる農業・人材・社会開発コンプレックスについておしえてください

農業・人材・社会開発コンプレックスは、当行の戦略的優先課題「ハイファイブズ（High 5s）」のうち、「アフリカの食料増産」と「アフリカの人々の生活の質の向上」の2つに注力する責務を負っています。農業・農工業、農業金融・農村開発、ジェンダー・女性・市民社会、人的資本・若者・技能開発、水開発・衛生という5つの部門をもって、重要かつインパクトのある質の高いソブリン事業とノンソブリン事業の戦略策定、政策立案、実行、提供を行っています。

また、AfDBの「[COVID-19即応ファシリティ（CRF：COVID-19 Rapid Response Facility）](#)」や「[アフリカ緊急食料生産ファシリティ（African Emergency Food Production Facility）](#)」への技術的専門性の提供を主導しています。後者は、ウクライナにおける戦争が世界の食料システム、物価上昇、気候変動に与える影響を緩和する手段として、アフリカ諸国の食料増産を支援するための手段です。

さらに、AfDBのすべてのプログラムや活動において、ジェンダーへの影響に細心の注意を払うことや、「[アフリカの女性のための積極的金融アクション（Affirmative Finance Action for Women \(AFAWA\)）](#)」の取り組みを通じて女性へのファイナンスを加速させることを提唱しています。

COVID-19の影響の軽減に重点が移ったことで、農業・人的資源・社会開発に対するAfDBのコミットメントにどのような影響を与えましたか

2021年7月にAfDBに入行して以来、私はアフリカ域内加盟国（RMCs）がパンデミックから立ち直り、将来のショックへのレジリエンスを高めることを支援するAfDBの継続的取り組みに対する真の「全行一体（One Bank）」アプローチに励まされています。例えば、AfDB理事会は、水開発・衛生局が新たな水戦略（2021年承認）を策定したことを高く評価しました。COVID-19は、ウイルスの蔓延を防ぐための鍵となる給水・衛生・衛生促進サービスへの投資不足によって引き起こされる脆弱性を明らかにしました。この戦略の焦点は、アフリカの水の安全保障を強化し、持続可能で環境に優しく、包摂的な社会経済の成長と開発を促進することにあります。

AfDBの「[COVID-19農業対策（Feed Africa Response to COVID-19）](#)」は、アフリカの食料システムのレジリエンス、持続可能性、地域自給率を高め、パンデミックがもたらした農業バリューチェーンの混乱に農家が対処するのを支援するための包括的支援の道を開きました。農業セクターの短期・中期的な解決策としては、最も脆弱な人々への食料供給支援、食料価格の安定化、食品加工の最適化、支援サービスの拡大、スマート補助金による主要農業投入財の提供などが挙げられます。

アフリカでは、女性の92%がインフォーマル経済に従事しています。ある調査によると、女性が経営する中小企業の80%がパンデミックによる規制のため一時的または恒久的な事業停止に追い込まれました。すべてのCRF活動は、ジェンダーへの配慮を計画と成果に取り入れ、女性の脆弱性を軽減し、安全性と経済的レジリエンスを高めることに重点を置いています。一連の活動の中で、AfDBはインフォーマルセクターの労働者や最も打撃を受けた女性経営企業に対して現金給付、補助金付き融資、税金控除といった形で支援を行い、女性起業家を援助しました。

2022年2月、理事会は「[アフリカにおける質の高い保健インフラ戦略 2022-2030（Strategy for Quality Health Infrastructure in Africa 2022-2030）](#)」を承認しました。これは、パンデミックによって浮き彫りになったアフリカの保健インフラの不足に対処する上で、AfDBが果たすべき役割を明確にするために策定されたものです。COVID-19の影響を軽減し、将来のショックに対処可能な保健システムを構築するために、この戦略では3つの分野横断的なテーマを設定しています。具体的には、保健情報システムを強化しイノベーションを支援するための情報通信技術（ICT）の接続性向上、地域協力の推進と保健政策・規制の調和、政策対話と技術支援です。

農業はほとんどのアフリカ諸国の経済の原動力であることが知られていますが、アフリカ大陸の農業、食料安全保障、栄養の現状をどのようにみていますか

農業は、アフリカの食料供給を守り、2030年までに飢餓を撲滅するというSDG2を達成する上で中心的な役割を担っています。食料不足と栄養不足は、引き続きアフリカにおける重要な課題です。約2億7,800万人が栄養不足に陥っており、これは全世界の栄養不足人口の約3分の1に相当します。国連の「世界の食料安全保障と栄養の現状」2022年版報告書によると、アフリカにおける2021年の栄養不足の比率は20.2%と、2007年以来の高水準となりました。COVID-19が、飢餓の影響を受ける人々の急増（2020年から2021年の間に5,000万人近く）の一因となりました。ブルッキングス研究所の分析によると、アフリカは依然として年間430億米ドルの食料純輸入地域となっています。

アフリカの食料安全保障は、緊急かつ真剣な関心を必要としています。気候変動は、不平等、天然資源の劣化、紛争、COVID-19など、他の複数のストレス要因やショックと絡み合っており、食料安全保障の進展を遅らせています。ウクライナにおける戦争は、農産物市場、貿易、生産、価格の歪みに加え、多くのアフリカ諸国がロシアとウクライナからの小麦やトウモロコシなどの主要作物の輸入に依存していることもあり、アフリカの食料・栄養安全保障や農業に広範な影響を及ぼしています。

飢餓以外にも、ほとんどのアフリカ諸国は発育阻害と肥満、食事関連疾患（心血管疾患、脳卒中、糖尿病など）などの消耗性疾患が混在する栄養不良の三重苦に直面しています。最新の「[Joint Child Malnutrition](#)」の推計によると、アフリカの5歳未満児のうち6,140万人が発育不良で、1,210万人が消耗性疾患に陥っています。さらに、1,060万人の子どもが過剰体重です。

AfDBの「マルチセクター栄養行動計画」は、農業、社会、保健、給水・衛生・衛生促進プロジェクトへの栄養スマートな投資を促進することを目的としています。目指しているのは、2025年までにアフリカの発育阻害児を40%減少させることです。この行動計画は、AfDB、Big Win Philanthropy、アリコ・ダンゴテ財団が締結した「[栄養のための銀行パートナーシップ \(Banking on Nutrition Partnership\)](#)」協定を通じて実施されています。その結果、これまでにAfDBのプロジェクトの18%に栄養が組み込まれ、21%のプロジェクト活動で女性と子どもを優先的に対象としています。

ロシア・ウクライナ紛争に端を発する食料危機に対して、AfDBはどのような解決策を提示していますか

2022年7月、理事会はウクライナにおける戦争、気候変動、COVID-19を背景とする食料価格の上昇やインフレを緩和するために、アフリカを支援する24のプログラムを承認しました。第1弾では11億3,000万米ドル相当が承認され、これはアフリカ全体の食料安全保障、栄養、レジリエンスの強化を目的としたAfDBの「[アフリカ緊急食料生産ファシリティ](#)」の一部となっています。このファシリティは、アフリカの2,000万人の小規模農家に気候に適応した小麦やトウモロコシといった主要作物の種子を提供するとともに、安価な農業用肥料を入手しやすくするもので、アフリカの農業セクターへの投資を促すためのガバナンス改革や政策改革の先駆けとなるものです。このファシリティにより、アフリカの農家は今後2年間で食料生産を3,800万トン増やすことができる見込みであり、これは推定120億米ドルに相当します。

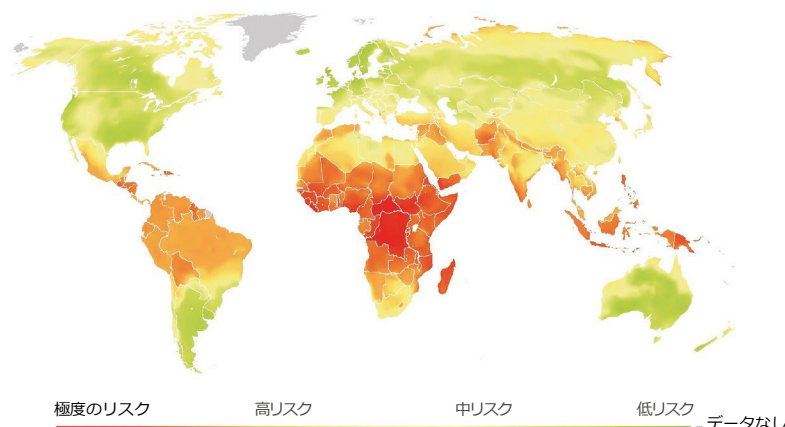


AfDBのアフリカ緊急食料生産ファシリティは、ケニア人のルーシー・ニエリのような、より多くの農家に気候に適応した主要作物の種子と安価な肥料を提供し、アフリカが食料安全保障の目標を達成できるように支援しています。

急速に発展するアフリカの気候変動アジェンダ

2021年、AfDBは新たな「[気候・グリーン成長戦略枠組](#)」を発表しました。この枠組は、アフリカ諸国は地球規模の気候変動問題にほとんど加担していないという認識に基づいています。実際、アフリカ大陸は世界の累積（歴史的）温室効果ガス（GHG）排出量のわずか3%、2019年の年間GHG排出量のわずか4%を占めるに過ぎません¹⁰。

深刻な気候変動の影響に晒されるアフリカ



Source: Climate Change Vulnerability Index 2017 - Verisk Maplecroft

気候変動に対して世界で最も脆弱な10カ国のうち8カ国がアフリカ¹¹

チャド、ケニア、マダガスカル、マラウィ、モザンビーク、ニジェール、ソマリア、スーダンなどは干ばつや洪水などの異常気象に直面しており、これらの気候リスクに適応するための体制が整っていません。

新たな戦略枠組は、AfDBが気候変動に対処し、アフリカのグリーン成長を推進するために、アフリカ諸国とどのように協力していくかを明示したものです。AfDBの気候変動に関する挑戦を大きくスケールアップするため、相互に関連し、かつ補完的な3つの要素から構成されています。

政策（無期限）

AfDBの気候変動対応の明確なビジョンを明示

戦略（2021年～2030年）

AfDBが対外的取組及び行内の取組において採用すべき支援策や手段の優先順位づけ

気候変動行動計画 （2021年～2025年）

AfDBの短期・中期的な事業を規定

これらの文書は、「[気候リスク管理・適応戦略（Climate Risk Management and Adaptation Strategy）](#)」及び第1次、第2次気候変動行動計画（[CCAP I](#)および[CCAP II](#)）など、過去に発表済みのものをベースにしています。

すべてのアフリカの人々の利益のために、公正に変革された、気候レジリエントで、低炭素で、環境に優しく、包摂的で、統合された繁栄するアフリカ

戦略的ビジョンは、気候変動に対するアフリカの脆弱性を低下させると同時に、低炭素な方法でアフリカを発展させることです

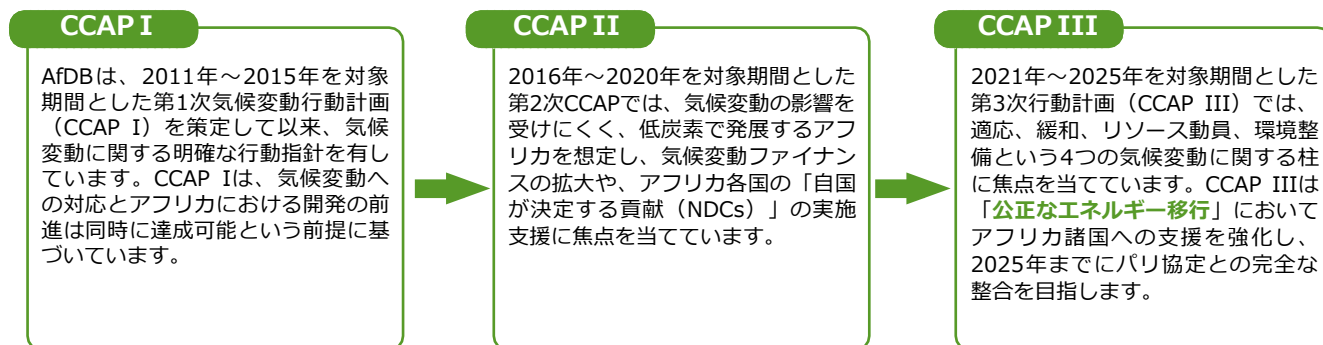
- この新たな枠組を通じて、AfDBは今後の投資や事業をパリ協定やSDGsと体系的に整合させるとともに、グリーン成長を重要な優先分野と位置づけ、野心的な気候変動ファイナンス目標を達成します
- AfDBのオペレーションとパリ協定との整合を図りつつ、2025年までに気候変動ファイナンスを現在の3倍の年間約50億米ドルに拡大し、累計で250億米ドルを気候変動ファイナンスとして動員することを約束しました

¹⁰ 最新のデータは次のサイトから入手可能：[Our world in Data, greenhouse gas emissions, 2021](#)

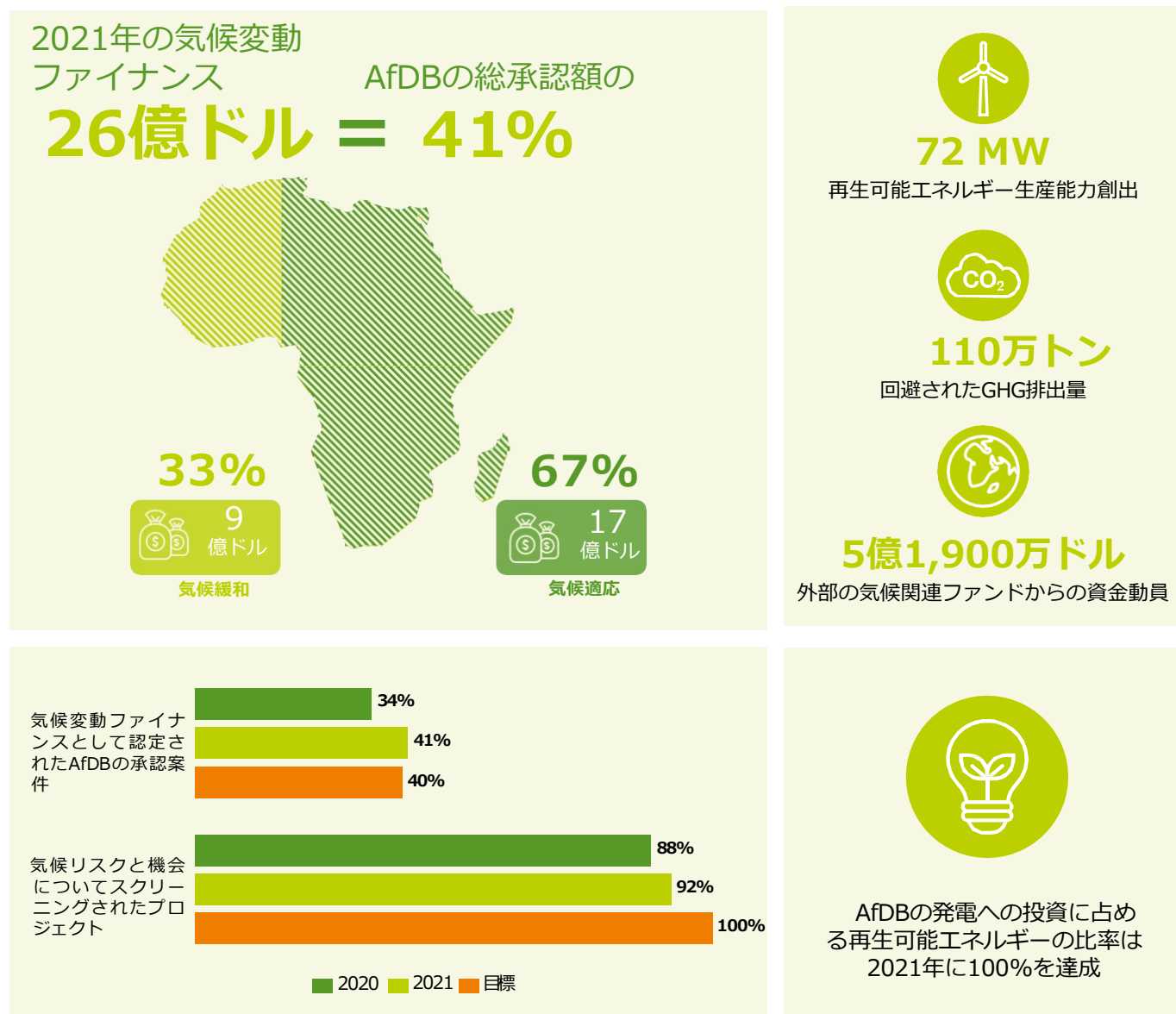
¹¹ [Countries most affected by climate change](#)

気候スマートな開発へのファイナンス

気候変動に関する今後10年間の明確な行動指針



気候変動とグリーン成長について有言実行 – 2021年の成果

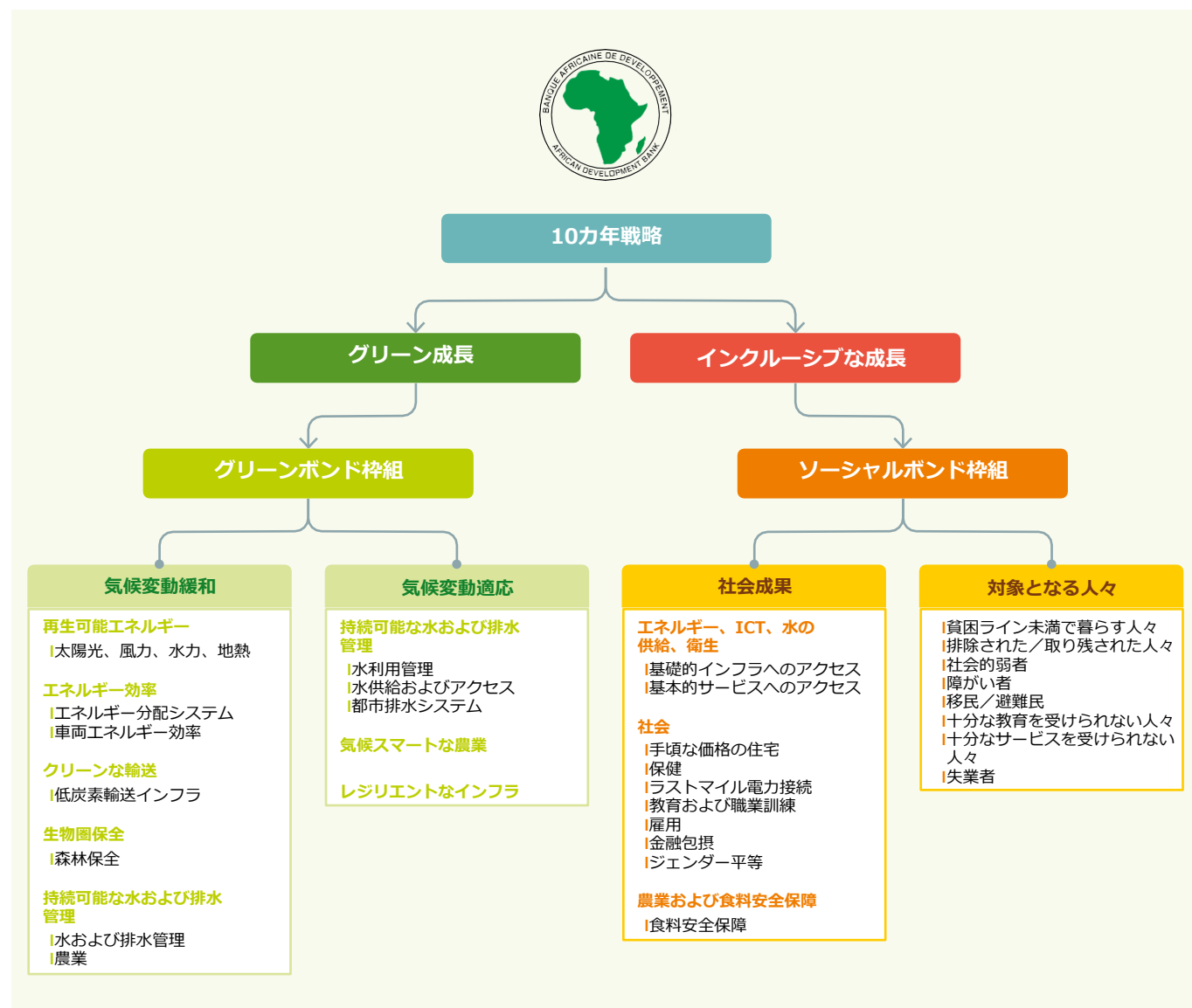


グリーン&ソーシャルボンド枠組

AfDBのグリーンボンド・プログラムとソーシャルボンド・プログラムはそれぞれ2013年と2017年に立ち上げられ、**アフリカ諸国のグリーン成長への移行を支援し、包摂的な成長を促進する**というAfDBの10カ年戦略の目的に沿うものです。これらのプログラムは数多くのSDGsに取り組んでおり、特にアフリカの経済や社会の発展に深刻な脅威をもたらす気候変動の文脈において、持続可能な開発に向けたアフリカの行動を支援しています。

AfDBのグリーンボンド枠組とソーシャルボンド枠組は、国際資本市場協会（ICMA）の**グリーンボンド原則（GBP）**と**ソーシャルボンド原則（SBP）**に準拠しています。これらの枠組の中で、AfDBのグリーンボンドとソーシャルボンドの調達資金は、財務部門が事業運営チームや気候変動・グリーン成長部門と共同で慎重に選考と審査を行い、適格とされたグリーンプロジェクトやソーシャルプロジェクトへの資金提供に活用されています。

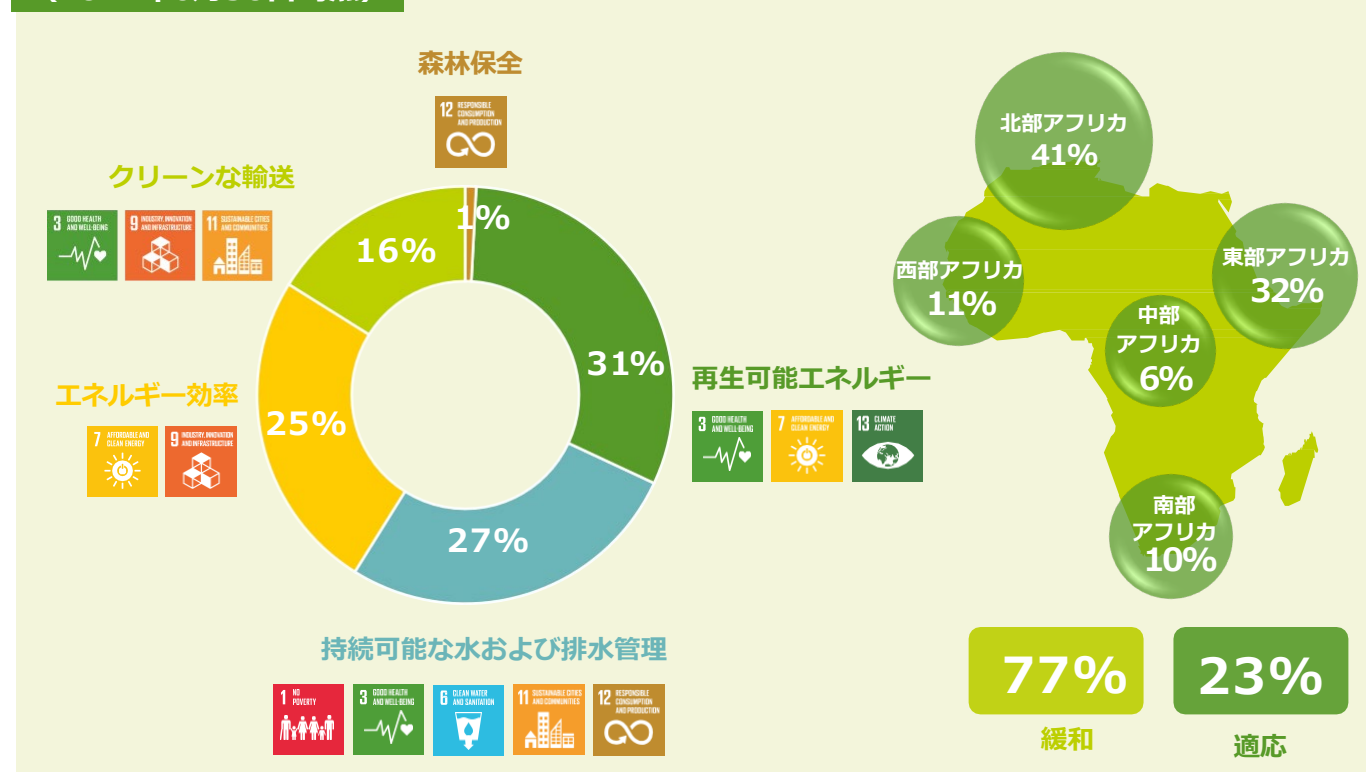
AfDBはグリーンボンドおよびソーシャルボンド・プログラムが市場のベストプラクティスを満たすことを引き続き保証し、ESG投資家からの問い合わせやさらなる透明性を求めるニーズに応えています。AfDBは**2019年からGBP/SBPエグゼクティブ委員会のメンバー**を務めており、グリーンボンド市場とソーシャルボンド市場の発展の基礎を形作るプロセスに関する議論に参加しています。



グリーンボンド・ポートフォリオ

17カ国の45件の適格グリーンプロジェクトに資金を提供し、38億米ドルを気候変動ファイナンスにコミット

(2022年6月30日時点)



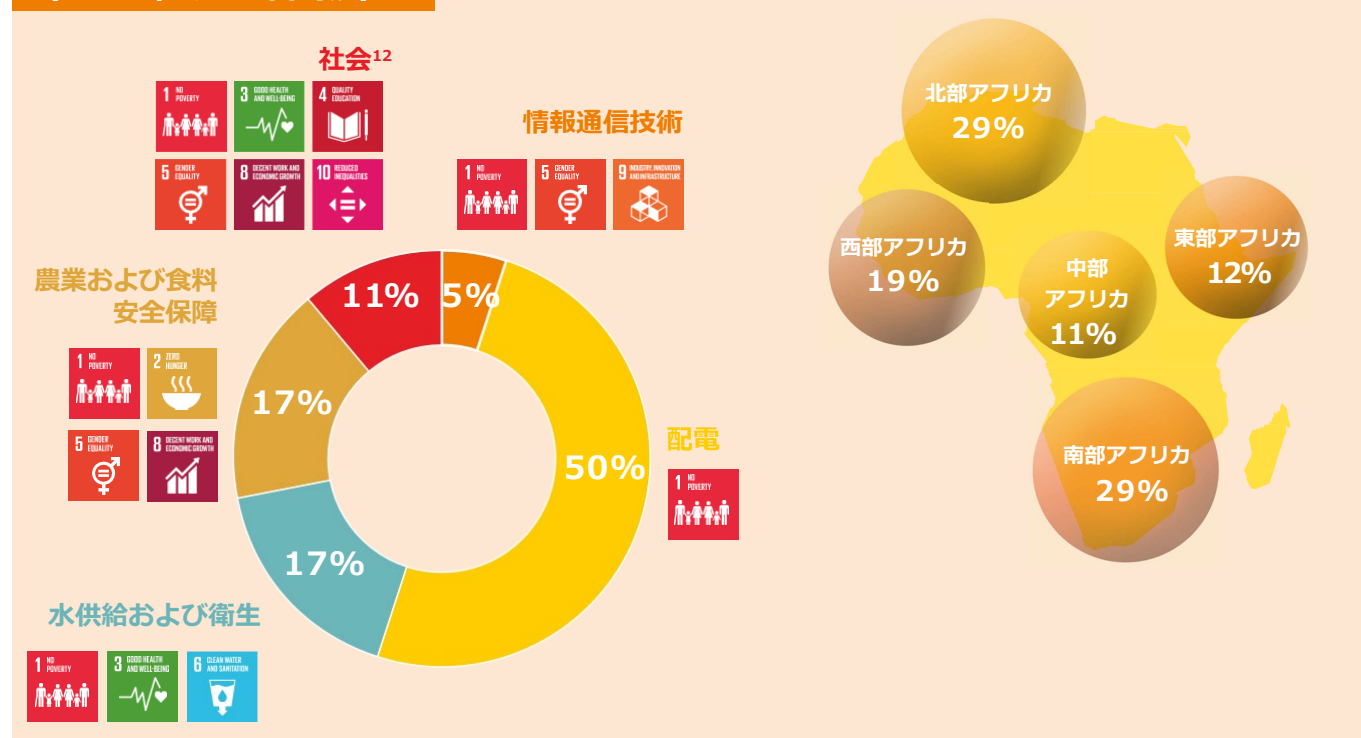
主要なグリーンプロジェクト

セクター	国	プロジェクト名	プロジェクト概要	緩和／適応
再生可能エネルギー	南アフリカ	レッドストーン100MW集光型太陽光発電プロジェクト	エネルギー供給ギャップの解消、石炭依存度の低減、二酸化炭素排出量の削減、現地雇用の創出、国内太陽光発電産業の育成を目的に、100MWの太陽光発電能力の追加を目指すプロジェクト。	緩和
持続可能な水および排水管理	モロッコ	農業と農村地域のための包摂的かつ持続可能な開発プロジェクト	灌漑地域の保護と持続可能性の確保、灌漑インフラの効率性向上、気候変動に対する小規模農業のレジリエンス構築、砂漠化・農地喪失への対処を通じて、より効率的かつレジリエントで持続可能な農業生産システムの開発に貢献するプロジェクト。	適応
エネルギー効率	カメルーン	カメルーン-チャド電力網相互接続プロジェクト	低コストでの電力供給を通じて、中部アフリカの経済・社会開発の向上を目指すプロジェクト。カメルーンとチャド両国の電力アクセス率を引き上げ、エネルギー取引の増加を通じて地域統合を強化することを目的とする。	緩和
クリーンな輸送	セネガル	ダカール-ディアムニャディオ-ブレス・ジャーニョ国際空港 (AIBD) 区間鉄道プロジェクト - フェーズ1	ダカールからブレス・ジャーニョ国際空港までを結ぶ55kmの鉄道建設プロジェクト。1日13,000人の乗客の輸送が可能となる。これにより、ダカール市民の移動時間が短縮されて生活の質が向上するとともに、GHG排出量の削減に貢献する持続可能な交通手段が提供される。	緩和
森林保全	ケニア	グリーンゾーン開発支援プロジェクト - フェーズ2	309,000ヘクタールの森林地の再生と保護を通じて、国の森林面積と家計所得を増やすことに重点を置いたプロジェクト。対象となる森林生態系の二酸化炭素固定量の増加や水涵養能力の増進に貢献する。	適応

ソーシャルボンド・ポートフォリオ

20カ国の53件の適格ソーシャルプロジェクトに資金を提供し、60億米ドルを社会開発にコミット

(2022年6月30日時点)



主要なソーシャルプロジェクト

セクター	国	プロジェクト名	プロジェクト概要
配電	ナイジェリア	ナイジェリア送電網拡大プロジェクト - フェーズ1	ナイジェリアの送電変電所や送電線の改修・改良を支援することで、送電網を拡大し、配電会社による電力供給の改善を可能にするためのプロジェクト。
水供給および衛生	ナミビア	水セクター支援プログラム	水資源の持続可能な生産と移転を増やすため、給水・衛生インフラに投資することを目的とするプログラム。これにより、都市部と農村部における消費や産業利用のための安全な飲料水へのアクセス、品質、安全性が向上し、ひいては人々の健康や生活が改善される。
農業および食料安全保障	赤道ギニア	漁業・養殖セクターのバリューチェーン構築支援プロジェクト	水産養殖の生産地を含め、個人の漁業者および産業としての漁業バリューチェーンを開発するとともに、飲料水・衛生インフラを強化し、それにより食料安全保障や生活環境を改善するプロジェクト。
社会	コートジボワール	政府による社会プログラムへの支援プロジェクト	農業生産や加工を支援し、基本的な社会サービスへのアクセスを改善し、労働市場へのアクセスを容易にすることで、農村住民や若者の生活環境の改善を支援するプロジェクト。保健・社会保護、農業、栄養、若者の雇用、エネルギー、ガバナンス、交通、農村部の給水・衛生セクターを対象とする社会プログラムの実施において、政府を支援する。
情報通信技術	ルワンダ	ルワンダ・イノベーション・ファンド	成長企業向け資金調達メカニズムの整備、テクノロジー系中小企業向けエクイティ・ファイナンス、テクノロジー系起業家向け研修の提供により、ルワンダおよび東アフリカのテクノロジー系企業が直面する資金ギャップへの対処を目的とするプロジェクト。150社への支援および初期成長段階にある20社への投資が見込まれる。

12 社会セクターは、保健、教育、職業訓練と定義されている。

COVID-19ボンド・ポートフォリオ

AfDBの「COVID-19と戦う」ソーシャルボンドによってファイナンスされたプログラム、プロジェクト、ファシリティは、基本的な保健・医療サービスへのアクセス促進、保健システムの強化、水と衛生へのアクセス改善、雇用の維持などの便益を通じて大きな開発成果を上げ、アフリカの人々の生活にインパクトを与えています。また、この債券を利用して、中小企業を対象に今回の健康・経済危機の影響を受けた人々を支援します。COVID-19ボンドは、COVID-19の感染拡大によって引き起こされた諸課題を克服し、パンデミックが人々の生活やアフリカ経済に及ぼす経済的・社会的影響を軽減しようとするアフリカの地域社会を支援するためのAfDBの対応の一環です。

2020年4月に発行された「COVID-19と戦う」ソーシャルボンドの調達資金の一部は、47件の適格プロジェクトからなるポートフォリオに充当されました。

2020年12月に終了した「[COVID-19即応ファシリティ \(CRF\)](#)」の下で承認されたプロジェクト13件

2021年 (CRF終了後) に承認されたポストコロナ復興プロジェクト9件

農業と食料安全保障、水と衛生、教育と職業訓練をはじめ、コロナ禍後の復興に不可欠なセクターの支援を目的としたソーシャルプロジェクト25件¹³

COVID-19関連プロジェクト・リスト (22件)

国	プロジェクト名	通貨	プロジェクト 総額 (百万)	AfDBによる融 資額 (百万)
ボツワナ	経済復興支援プログラム	米ドル	387	137
カーボベルデ	COVID-19危機対応支援プログラム	ユーロ	107	30
カメルーン	COVID-19危機対応財政支援プログラム	ユーロ	449	88
コートジボワール	経済・社会改革支援プログラム - フェーズII	ユーロ	349	30
コートジボワール	COVID-19対応支援プログラム	ユーロ	315	75
エスワティニ	エスワティニ経済復興・包括的成長支援プログラム - フェーズI	米ドル	76	36
ガボン	COVID-19対応財政支援プログラム	ユーロ	499	101
ガボン	経済復興支援プログラム	ユーロ	249	50
ケニア	COVID-19緊急対応支援プログラム	ユーロ	679	188
ケニア	競争力・経済復興支援プログラム	ユーロ	1,308	90
モーリシャス	COVID-19危機対応財政支援	ユーロ	188	188
モロッコ	モロッコ社会保護向上支援プログラム - COVID-19	ユーロ	118	118
モロッコ	COVID-19対応支援プログラム	ユーロ	264	264
モロッコ	経済復興のための金融包摂・起業・MSME支援プログラム	ユーロ	120	120
ナミビア	ガバナンス・経済改革支援プログラム	南アフリカランド	5,600	1,500
ナイジェリア	COVID-19危機対応財政支援プログラム	米ドル	5,188	289
セネガル	緊急COVID-19対応支援プログラム	ユーロ	1,524	88
セーシェル	COVID-19危機対応財政支援プログラム	米ドル	71	10
セーシェル	ガバナンス・経済改革支援プログラム	米ドル	175	20
南アフリカ	COVID-19対応支援プログラム	南アフリカランド	130,936	5,008
チュニジア	社会的包摂と雇用を通じたCOVID-19対応支援プログラム	ユーロ	612	180
チュニジア	経済復興・社会的包摂支援プログラム	ユーロ	554	60

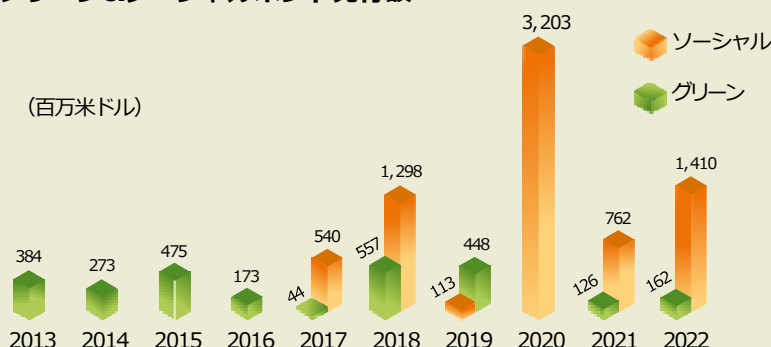
13 CRF終了後、AfDBは米ドル建てソーシャルプロジェクト25件をソーシャル・ポートフォリオからCOVID-19ポートフォリオに移管し、同様の開発インパクトを持つプロジェクトへの米ドル建て「COVID-19と戦う」ソーシャルボンドの割り当てを終了しました。

最近のESG債発行

AfDBはグリーンボンド及びソーシャルボンドの起債に際し、質の高いESG投資家からの関心を更に集めています。

グリーン&ソーシャルボンド発行額

(百万米ドル)



2013年にグリーンボンド枠組、2017年にソーシャルボンド枠組を策定して以来、AfDBは合わせて100億米ドル近くのグリーンボンドとソーシャルボンドを発行してきました。

10本 ソーシャルボンド	12本 グリーンボンド
73億米ドル	26億米ドル
ユーロ、米ドル、スウェーデン・クローナ、ノルウェー・クローネ、豪ドル	米ドル、スウェーデン・クローナ、豪ドル、南アフリカランド

市場環境が許す限りグリーンボンドとソーシャルボンドを少なくとも年に1回は発行するという公約の下、ESG市場におけるAfDBの活動は投資家に価値ある多様性を提供しています。最近いくつかの先駆的なESG取引を開拓したことは、この市場に対するAfDBの貢献を示すものです。

2022年のESG債発行

15億スウェーデン・クローナ

5年物
グリーンボンド
2027年2月償還

2億 南アランド

1年物
私募グリーンボンド
2023年9月償還

初のZAR建てグリーンボンド

1.55億豪ドル

10.5年物
ソーシャル・カンガルー債
2032年10月償還

2本目のソーシャル・カンガルー債

12.5億ユーロ

7年物
ソーシャル・ベンチマーク債
2029年9月償還

起債時点でユーロ建て
ソーシャルボンド発行実績
第3位

AfDBで最も成功したユーロ建てベンチマーク債発行

2022年9月、AfDBは12億5,000万ユーロの新発7年物ソーシャル・グローバルベンチマーク債（2029年9月償還）の発行と価格設定を行いました。利率は2.25%です。この新発債は、3月に発行した12億5,000万ユーロの5年物債券に続き、AfDBにとって2022年で2本目のユーロ建てグローバルベンチマーク債であり、ユーロ債のイールドカーブを延長するものです。さらにこの新発債はAfDBのユーロ債のイールドカーブの7年部分に新たな流動性とオンザラン銘柄の基準点をもたらし、AfDBが前回2017年に発行した主要なベンチマーク債のデュレーションを更新するものです。

ソーシャルボンドを発行し、アフリカ域内加盟国（RMCs）の社会経済開発に資金を提供することで、AfDBは「アフリカの持続可能な経済発展と社会進歩を促進する」という使命を前進させるとともに、アフリカに大きな社会的インパクトを与えるプロジェクトに融資してきた実績を活かしています。このユーロ建てソーシャルボンドの調達資金で賄われる適格ソーシャルプロジェクトは、貧困削減や雇用創出、そして年齢、ジェンダー、地域を超えた包摂的な成長につながり、アフリカの人々の生活の質を向上させると期待されています。

2022年9月6日（火）13時（ロンドン時間）に新発の7年物ユーロ建てグローバルベンチマーク債のマンドートが公表されました。これは、8日（木）に開催される9月の欧州中央銀行理事会会合を前にユーロ市場で利用できる最後の明確な機会を捉えたものです。翌朝8時（ロンドン時間）に注文が正式に開始され、イニシャルプライスソーズ（Initial Price Thoughts (IPT)）はミッドスワップ-2bp程度と発表されました。投資家からの需要は当初から旺盛で、需要申告は9時35分（ロンドン時間）までに18億ユーロを超え、ミッドスワップ-3bpと1bpのスプレッド縮小を後押ししました。最終的なスプレッドは、AfDBのユーロ債のイールドカーブに対して2bpの新発債コンセッションを示唆するものとなりました。

投資家の関心は高まり続け、最終的に71件の投資家が参加して需要申告総額が23億ユーロを超えるとともに、そのクオリティが12億5,000万ユーロの起債をしっかりと支えました。注目すべきは、この23億ユーロという需要申告額がAfDBのユーロ建てベンチマーク債として過去最大となったということです。

グリーンボンドとソーシャルボンドの配分

発行済みグリーンボンドの配分（2022年9月30日時点）



AfDBのグリーンボンドの調達資金は、**環境面で大きなメリットがあり、かつ低炭素化の促進**（GHG排出量の大幅削減につながる緩和プロジェクト）、または**気候レジリエントな開発**（適応能力やレジリエンスの維持・向上によって、気候変動に対する人間や自然界の脆弱性を軽減する適応プロジェクト）のいずれかに完全に適合し得る**適格プロジェクト**への資金提供に活用されます。

発行済みソーシャルボンドの配分（2022年9月30日時点）



AfDBのソーシャルボンドの調達資金は、**社会的に大きな影響と成果をもたらす、貧困の削減や包摂的な成長につながる適格プロジェクト**への資金提供に活用されます。これらの成果のうち目に見えるものとしては、手頃な価格の基礎的インフラ（電力、水と衛生、交通）へのアクセス改善、基本的サービス（医療、教育、職業訓練）へのアクセス改善、金融サービスへのアクセス改善、手頃な価格の住宅、雇用創出、食料安全保障、社会経済的発展とエンパワメントなどが挙げられます。

14 このソーシャルボンドは2022年9月14日に起債されましたが、まだ適格ソーシャルプロジェクトに割り当てられていません。これはAfDBのソーシャルボンド枠組にしたがい、次回の債務割り当てが2022年12月31日に行われるためです。

変革をもたらすグリーンプロジェクト

タンザニア

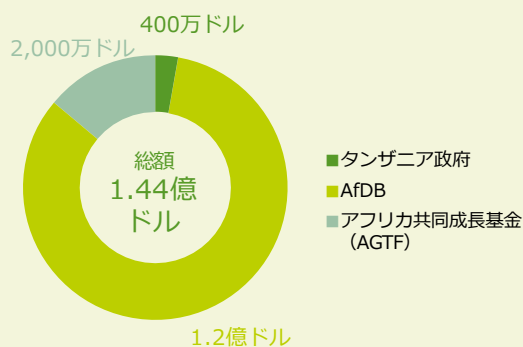


セクター：再生可能エネルギー
気候変動緩和

承認年：2020年



資金提供源：



マラガラシ水力発電プロジェクト

キゴマ地域の膨大な農業・水・鉱物資源や観光・貿易の成長ポテンシャルを考えると、この地域には非常に多くの開発機会があります。しかし、適切な基本インフラがないため、このような機会は十分に活かされていません。この地域は現在、運用・保守コストの高さに加え、エネルギー供給不足を特徴とするオフグリッドのディーゼル発電所から電力供給を受けており、不十分な電力供給や電力へのアクセスの悪さがこの地域の社会経済開発にとって大きな障害となっています。

このプロジェクトの目的は、タンザニア西部の電力供給を改善するとともに、社会経済的変革を促進するために発電能力を増強することにあります。49.5MWの系統連系型水力発電所（年間平均発電量181GWh）は、主にキゴマ地域と周辺地域の家庭、社会サービス（教育・保健・給水施設）、中小企業の地元需要を満たすものとなります。

タンザニア西部で進行中の送電網拡大プロジェクトと相まって、マラガラシ水力発電所は、クリーンで信頼性が高く手頃な価格の電力の供給源となり、キゴマ地域の経済成長と工業化、人材育成と社会変革を促進し、民間セクター開発のための環境を改善するでしょう。このプロジェクトは、サービスの信頼性と品質を向上させるだけでなく、発電構成における再生可能エネルギーの利用を増加させ、GHG排出量の削減にも寄与します。



期待される開発成果



- 4,250の新たなラストマイル接続
- 50 MWhの再生可能エネルギー発電能力を構築
- 電力供給量が25%増加
- タンザニアの電化率が5%上昇



- 年間86,400 tCO₂eのGHG排出量削減



- 50万本の植樹



- 850人の雇用創出

ルワンダ



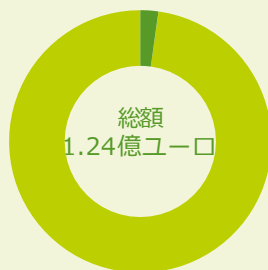
セクター： 持続可能な水および排水管理
気候変動緩和

承認年： 2020年



資金提供源：

300万ユーロ



■ルワンダ政府
■AfDB

1.21億ユーロ

ムブンバ多目的水資源開発プログラム

ルワンダの水資源は、季節性の予測不可能な降雨のために、気候の変動や変化、環境圧力に対して極めて敏感です。貯水施設の不足のため、すでに干ばつが大きな経済損失をもたらし、長期的な経済成長を抑制しています。十分な貯水インフラがないため、水資源の最適な利用ができていません。

このプログラムでは多目的な水利用を目的としたダム建設を行います。このプログラムは、灌漑、家畜用、水力発電用に水資源を活用し、水、エネルギー、食料、栄養の安全保障を向上させるとともに、集水域の保護、森林管理、発電能力の開発を通じて水資源の持続可能性を確保し、気候変動に対するレジリエンスを高めることを目指しています。

このプログラムは、推定8,500～9,500ヘクタールに及ぶプロジェクト地域のさらなる灌漑整備と、日量推定24,000m³、30万人分の地域給水及び家畜用給水に寄与します。



期待される開発成果



- 56万人が裨益
- 貧困ライン未満で暮らす人々が10%減少



- 5,400万立方メートルの貯水
- 年間6,939 MWhの水力発電
- 新たに30万人に日量24,000立方メートルを給水
- 8,500～9,500ヘクタールの土地の灌漑



- 67,000人の雇用創出

変革をもたらすソーシャルプロジェクト

コンゴ



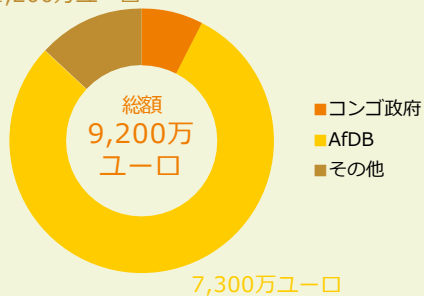
セクター： 農業および食料安全保障

承認年： 2019年



資金提供源：

1,200万ユーロ 700万ユーロ



統合農業バリューチェーン開発プロジェクト

このプロジェクトの目的は、農業・食品バリューチェーンの統合的な開発を通じて、食料・栄養安全保障の向上と国民経済の多様化に寄与することです。プロジェクトの活動は、市場の需要、国民経済への貢献（輸入代替）、農家や若者、女性への潜在的影響に基づき優先順位がつけられた4つの農業バリューチェーン（キャッサバ、トウモロコシ、鶏肉、魚）に重点を置いています。

このプロジェクトは、農産物の競争力向上、加工・販売業務の最適化、小規模生産者と民間事業者とのビジネスパートナーシップの促進を目的としています。その焦点は下流の農業生産活動を改善することであり、これは生産量の向上やレジリエントな技術手段の活用を促すデコとなるでしょう。

このプロジェクトは、スキル開発と農業における起業の促進、農業生産システムの生産性とレジリエンスの向上、制度開発と官民対話で構成されています。



期待される開発成果



• 74万6,000人が裨益



- 15,000ヘクタールの農地がアグロフォレストリーの対象に
- 気候耐性のある技術へのアクセスが40%向上
- 農業バリューチェーン従事者の金融アクセスが4%増加
- キャッサバ、トウモロコシ、鶏肉、魚のバリューチェーンで中小零細企業（MSME）200社が発展



• 5歳未満児の慢性栄養不良率が4%低下



- 200の女性団体／協同組合を支援
- 11万3,000人にトレーニングを提供

コートジボワール

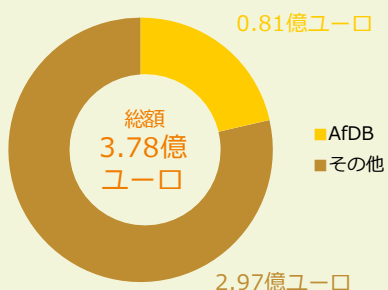


セクター：配電

承認年：2019年



資金提供源：

アティンク（CIPREL V）390 MW
ガス発電プロジェクト

このプロジェクトは30ヘクタールの敷地に新たに390MWの複合サイクル発電所を設計・建設・運転するもので、年間2,800GWh以上を国内電力網に供給する予定です。複合サイクルの追加により、従来と同程度の燃料消費量で、発電能力が50%向上します。

コートジボワールの現在の電力システムは、非常用発電所や老朽化した非効率的な発電所の廃止により、一段と強化されます。さらに、このプロジェクトにより、同国で予想される電力需要（国内及び周辺国の需要を含む）に競争力のあるコストで応えることができるようになります。このグリーンフィールドによる発電所は同国及び西アフリカで最も効率的なガス発電所となり、発電による二酸化炭素排出量の削減にも貢献します。

信頼性が高く手頃な価格の電力供給が可能になれば、社会サービス（保健、給水、教育）の提供や中小企業の発展の改善に貢献するとともに、直接・間接の雇用も創出されます。さらに、効率的な複合サイクル技術により、二酸化炭素排出量の観点からも効率的なエネルギー生産が可能となり、西アフリカ地域における電力輸出の拡大も可能になるかもしれません。



期待される開発成果



- ・発電能力が**390MW**増加
- ・発電設備容量が**2,000MW**増加
- ・電力アクセス率が**100%**向上



- ・**424,000トン**のCO₂排出回避



- ・火力発電コストが**1KWh当たり0.03ユーロ**低下



- ・**875人**の雇用創出

変革をもたらすCOVID-19プロジェクト

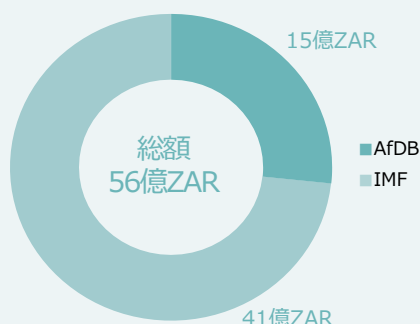
ナミビア



セクター： マルチセクター
COVID-19関連
承認年： 2021年



資金提供源：



ZAR：南アフリカランド

ガバナンス・経済復興支援プログラム

ナミビアは力強い経済パフォーマンスを記録してきましたが、ここ数年は成長が鈍化しています。2020年にはCOVID-19危機を背景にナミビア経済は7.3%縮小しました。パンデミックの悪影響は金融サービス、貿易、投資、観光に及んでいますが、これらはいずれもパンデミック前からすでに圧力にさらされていました。

このプログラムの目的は、ガバナンスの改善と実際の構造改革を通じて、レジリエンスの強化とパンデミック後のインクルーシブな経済復興の促進を目指す政府の改革を支援することにあります。特に重点を置くのは、財政パフォーマンスの向上、重要な経済セクターの再生、中小零細企業の開発、社会保護の支援です。



期待される開発成果



- 社会保護の受益者が**40,000人**増加
- 年間**90件**の中小企業新規登録



- 農業への民間投資が**1,200万米ドル**増加
- 工業への民間投資が**540万米ドル**増加
- 財政赤字（対GDP比）が**2.6%**改善

モロッコ



セクター： マルチセクター
COVID-19関連

承認年： 2021年



資金提供源：



経済復興のための金融包摂・起業・中小 零細企業（MSME）支援プログラム

COVID-19のパンデミックと干ばつの影響でモロッコは20年ぶりに景気が後退し、2020年のGDPは6.3%縮小しました。また、健康危機は雇用危機へと発展し、失業率は2019年の9.2%から2020年には11.9%に上昇しました。特に若者、女性、新卒者の失業率が高く、社会的不平等が拡大し、最も弱い立場にある人々を再び貧困に追いやりました。

このプログラムの目的は、企業の再開、経済活動の復活、雇用の維持を可能にするために、経済復興の資金を提供することにあります。中小企業や家計への融資を促進し、起業を支援し、行政手続きの簡素化によりビジネス環境を改善するために、包摂的金融の分野における改革を支援します。

このプログラムの直接的な受益者は、企業活動の発展に対する制約が取り除かれることになる中小企業と、より透明でインセンティブのある投資枠組の恩恵を受けるプロジェクトの投資家です。



期待される開発成果



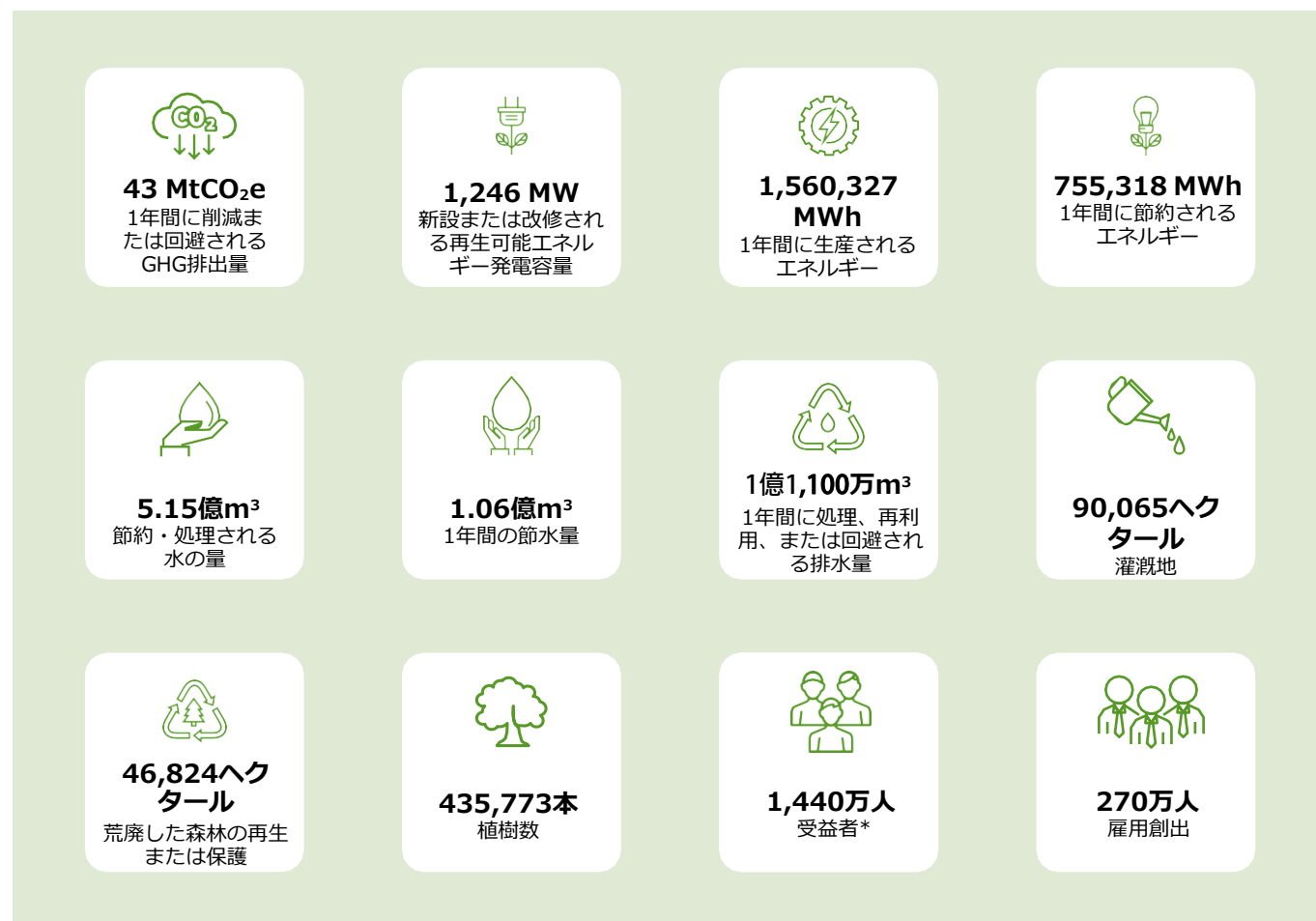
- 21,182件のマイクロファイナンスが裨益
- 100%の家計が電子ウォレットにアクセス



- 70万件の包摂的な保険契約
- オルタナティブ市場に登録申請する中小企業数が10%増加
- 資本市場からの資金調達額が15%増加

グリーンボンド・インパクトレポート¹⁵

グリーンボンド・ポートフォリオの総合インパクトレポート（影響評価報告）（2022年6月30日時点）



注：このインパクトレポートはプロジェクト評価時点における事前推定に基づいているため、これらの成果が最終的に実現する保証はありません。このインパクトレポートは、特定の年または報告期間に達成された実際の成果を提示するものではありません。プロジェクトごとの完全なインパクトレポートは[こちら](#)からダウンロードできます。

¹⁵ このインパクトレポートは、適格グリーンプロジェクトに対するAfDBの資金提供の割合に比例して算出されています。

* 国連統計局とAfDB統計部門によると、2019年のアフリカの平均世帯人数は4.69人でした。

ソーシャルボンド・インパクトレポート¹⁶

ソーシャルボンド・ポートフォリオの総合インパクトレポート（影響評価報告）（2022年6月30日時点）



1億4,120万人
受益者*



4%
貧困の減少



462,342人
雇用創出



6%
失業率の低下



304,530人
トレーニングの提供



230万人
水と衛生への
アクセス改善



12%
水供給への
アクセス向上



26%
衛生サービスへの
アクセス向上



12%
水に起因する
疾病の低減



1,000人あたり7
幼児死亡率の低減



1,000人あたり22
妊産婦死亡率の低減



16,245ヘクタール
農地の灌漑・開発



150万トン
年間作物生産量の増加



25億ドル
農産品などの
輸出の増加



160万人
電力へのアクセス向上



10%
電力への
アクセス率向上



中小零細企業2,757社
金融へのアクセス
を支援



1,524ドル
受益者1人当たりの
年収増加額**



6%
食料安全保障の向上



13%
インターネットサービ
スの普及率向上

注：このインパクトレポートはプロジェクト評価時点における事前推定に基づいているため、これらの成果が最終的に実現する保証はありません。このインパクトレポートは、特定の年または報告期間に達成された実際の成果を提示するものではありません。プロジェクトごとの完全なインパクトレポートは、[こちら](#)からダウンロードできます。

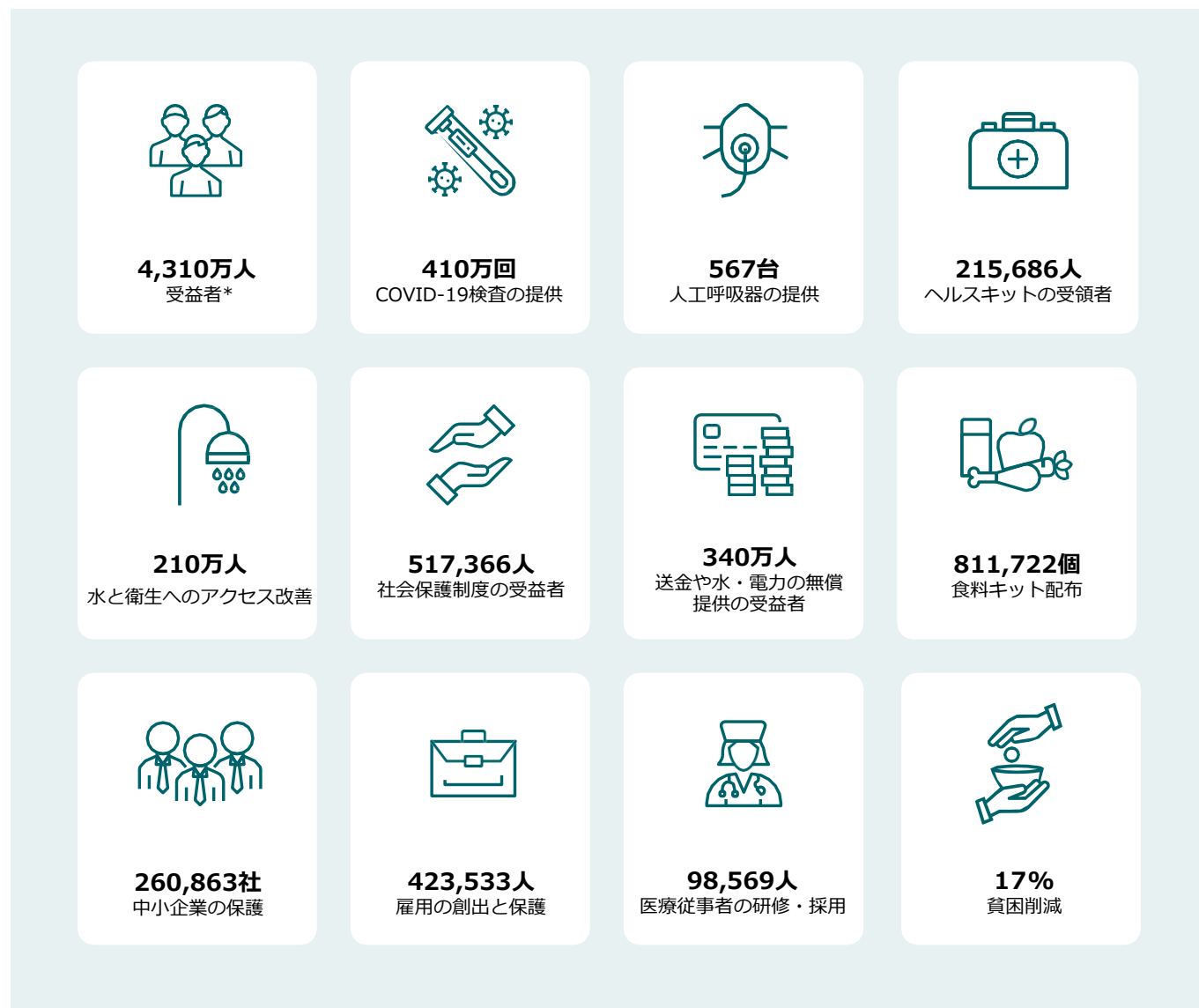
16 このインパクトレポートは、適格ソーシャル・プロジェクトに対するAfDBの資金提供の割合に比例して算出されています。

* 国連統計局とAfDB統計部門によると、2019年のアフリカの平均世帯人数は4.69人でした。

** 所得創出をインパクト指標とする特定のソーシャル・プロジェクトにおいてのみ。

COVID-19ボンド・インパクトレポート¹⁷

COVID-19ボンド・ポートフォリオの総合インパクトレポート（影響評価報告）（2022年6月30日時点）



注：このインパクトレポートはプロジェクト評価時点における事前推定に基づいているため、これらの成果が最終的に実現する保証はありません。このインパクトレポートは、特定の年または報告期間に達成された実際の成果を提示するものではありません。プロジェクトごとの完全なインパクトレポートは、[こちら](#)からダウンロードできます。

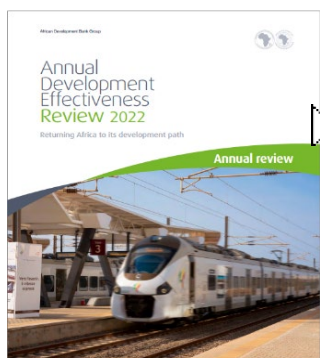
¹⁷ このインパクトレポートは、適格COVID-19プロジェクトに対するAfDBの資金提供の割合に比例して算出されています。

* 国連統計局とAfDB統計部門によると、2019年のアフリカの平均世帯人数は4.69人でした。

透明性と開発成果

開発効果年次報告

開発効果年次報告（ADER）は、5つの戦略的優先分野「High 5s」について過去1年間のアフリカの開発状況を評価し、AfDBによる貢献を詳述したものです。また、AfDBのポートフォリオを強化し、事業の効果を高めるための継続的取り組みの成果も示しています。

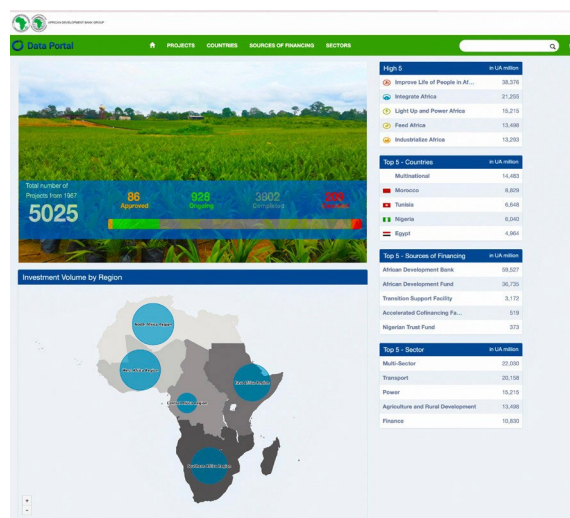


2021年に完了したプロジェクトによる開発インパクトの成果

- ┆ 130万人が新たに電力に接続
- ┆ 370万人が農業の改善による恩恵を享受
- ┆ 1,220万人の水及び衛生へのアクセスを改善
- ┆ 13万3,600社の自営業及び中小零細企業に金融サービスへのアクセスを提供
- ┆ 660万人の輸送サービスへのアクセスを改善
- ┆ 13万人の教育へのアクセスを改善
- ┆ 10万8,000人にトレーニングを提供

データポータル

プロジェクト・データポータルから、1967年以降にAfDBが実施したすべての融資プロジェクトに関する情報にアクセスすることができます。ワンクリックで操作できるこのユーザーフレンドリーなポータルサイトでは、既製のツールを用いて5,000件以上のプロジェクトをチェックおよび表示することができ、国別、地域別、セクター別、High 5s別の情報も俯瞰できます。全体として、このポータルサイトは、どこにニーズとリソースのギャップがある可能性があるかをより深く理解するのに役立ちます。

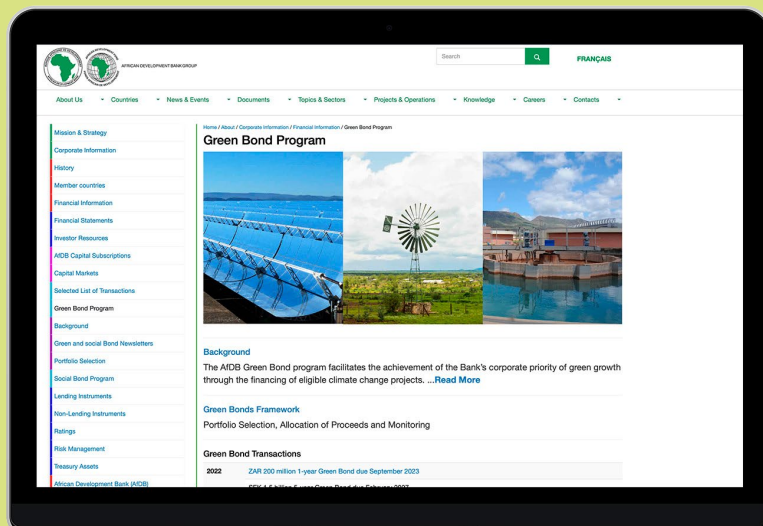


AfDBの31億米ドル建て「COVID-19と戦う」ソーシャルボンドと、それに続く25億スウェーデンクローナ建て「COVID-19と戦う」ソーシャルボンドは、2020年4月にロンドン証券取引所（LSE）への上場が認められました。これはAfDBにとってLSEへの初上場となったほか、[LSEのサステナブルボンド市場（SBM）](#)に登録された当時最大のソーシャルボンドとなりました。

ナスダックは、AfDBが「COVID-19と戦う」ソーシャルボンドを発行した後、2020年6月にナスダック・サステナブルボンド・ネットワークに登録したことを歓迎しました。ナスダックは資本市場やその他の産業にサービスを提供するグローバルなテクノロジー企業です。データ、分析、ソフトウェア、サービスといった、同社が提供するさまざまな支援によって、顧客は自信を持ってビジネスビジョンを最適化し、実行できるようになります。



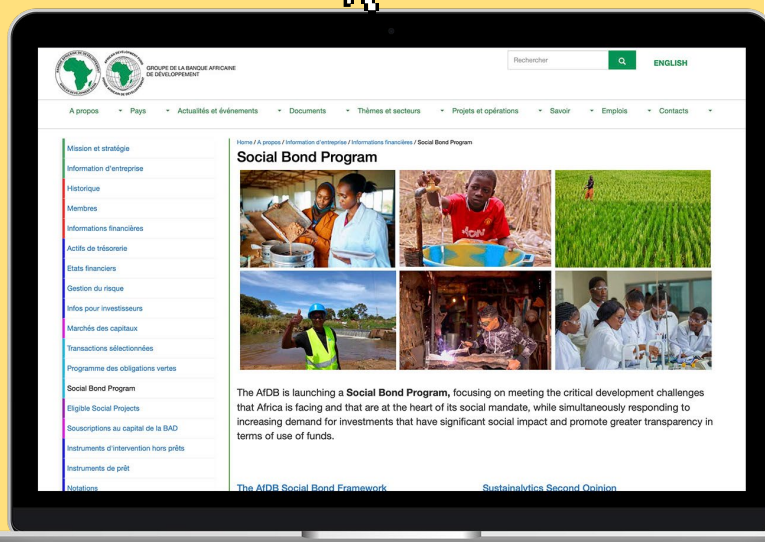
AfDB グリーンボンド ホームページ



- | グリーンボンド枠組
- | CICEROによるセカンドオピニオン
- | 適格グリーンプロジェクト
- | グリーン・インパクトレポート
- | グリーンボンド取引
- | グリーン&ソーシャルボンド・ニュースレター
- | 気候・グリーン成長戦略枠組
- | 気候変動行動計画III（2021年～2025年）
- | 統合セーフガード・システム
- | MDBによる気候変動ファイナンスに関する共同報告書
- | 気候変動ファイナンス・トラッキング手法
- | 開発効果年次報告
- | アフリカ経済見通し

AfDB ソーシャルボンド ホームページ

- | ソーシャルボンド枠組
- | Sustainalyticsによるセカンドオピニオン
- | 適格ソーシャルプロジェクト
- | ソーシャルボンド取引
- | ソーシャル・インパクトレポート
- | COVID-19インパクトレポート
- | グリーン&ソーシャルボンド・ニュースレター
- | 統合セーフガード・システム
- | 開発効果年次報告
- | アフリカ経済見通し
- | COVID-19即応ファシリティ（CRF）
- | アフリカ緊急食料生産ファシリティ



※ 本ニュースレター日本語版は、読者への便宜を図る目的で、正文の英語版より和訳しています。
適宜、英語版をご参照ください。



www.afdb.org



FundingDesk@afdb.org



AfDB
<GO>